

日本健康心理学会メールマガジン No.15



2013年10月21日 第15号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.11 兵庫県立大学 金外淑先生

1) 学会からのお知らせ

<http://jahp.wdc-jp.com/>

■機関誌「健康心理学研究」Vol.27No.1に掲載される英論文（4論文まで）に、平成25年度国際情報発信強化補助金の一環として、英文翻訳助成金を支給することになりました。

<http://jahp.wdc-jp.com/journal/journal1.html>

■笹川スポーツ財団から2014年度笹川スポーツ研究助成の案内がきています。

http://www.ssf.or.jp/encourage/grant/index_2014.html

■研究推進委員会より

研究部会制度に基づく活動助成についての2013年度募集は終了しました。

■国際委員会より 2013 Psychology and Health Conferenceのご案内

2013年11月29日～12月1日、中華人民共和国、海南島の最南端に位置する三亜市にて、2013 Psychology and Health Conference (PHC 2013) が開催予定です。

詳細は下記の大会ホームページにてご確認ください。

<http://www.engii.org/workshop/phc2013november/>

■研修委員会より 研修会のご案内

12月7～8日（土・日）／大阪人間科学大学にて開催します。

「働く人のための労働衛生～疲労研究から学ぶ」では疲労外来（倉恒弘彦関西福祉科学大教授）、

「禁煙外来での健康心理士の役割」では禁煙外来（野田隆のだ小児科医院長）など

医療現場の専門家と健康心理士が共演します。

■広報委員会より

過去のメールマガジンがホームページで閲覧できるようになりました。

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>

■学会HP更新情報（2013年10月15日時点）

【広報・NL委員会】<http://jahp-public.blogspot.jp/>

第26回大会で広報・NL委員会企画ワークショップが開催されました

2013年度第1回広報・ニューズレター委員会議事録

【研究・実践活動支援委員会】<http://jahp-practice.blogspot.jp/>

2013年度 研究・実践活動支援委員会

2) 健康心理学コラムvol.11

「アジアにおける健康文化と医療の国際化を考える」（兵庫県立大学看護学部心理学系 金外淑先生）

「アジアにおける医療現場の国際化と新しい文化的健康観」というテーマでシンポジウムを企画する機会があり（第1回アジア未来会議、タイ、2013）、アジアにおける健康文化と医療の国際化について考えるきっかけになった。

特に、シンガポールをはじめ、タイ、韓国において、メディカルツーリズム（Medical Tourism）やヘルスツーリズム（Health

Tourism）に対する医療現場の国際化が進んでいることで少々驚いた。

アジア諸国は健康観、健康問題、治療について、ある程度類似したものを持っているが、文化、経済、社会的背景などが大きく異なり、広い視点からそれぞれが独自の健康文化を持っている。

しかし、受け入れ国の医療に関する規制や渡航の制限、異なる文化・言語を使う外国人患者の対応は困難であるという考え方はもうすでに時代遅れで、「twitter」「facebook」といったインターネット上で国境を越えた人との交流が急速に増え、「医療のグローバル化」を支える要因となっている。アジアの新興国の医療を受けるメディカルツーリズムは、今後ますます注目されていくだろう。

日本はアジア諸国より、メディカルツーリズムに対する認知度はそれほど高くはないが、医療・介護現場の国際化が進んでおり、日本もその影響を受けて新しい健康文化が生まれつつある。

健康問題の発生とその対応をめぐる、病気の症状から健康を考える健康観と、心理面を重視し総合的に健康観を論じる健康文化の連続性の中で、これから我々が学びあえ共有できる課題は何なのかを考えてしまう。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>